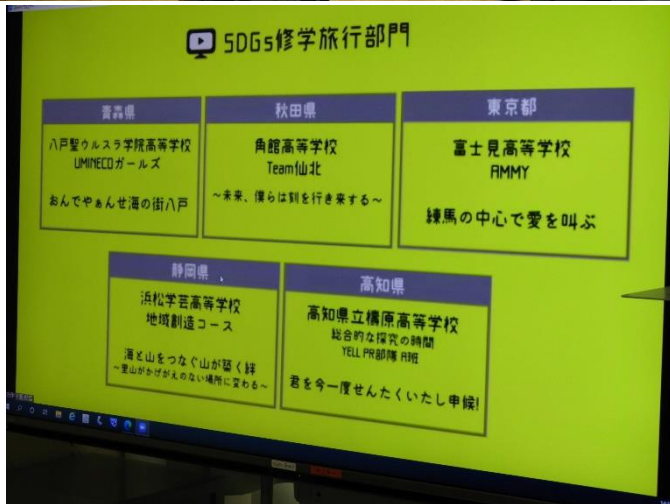
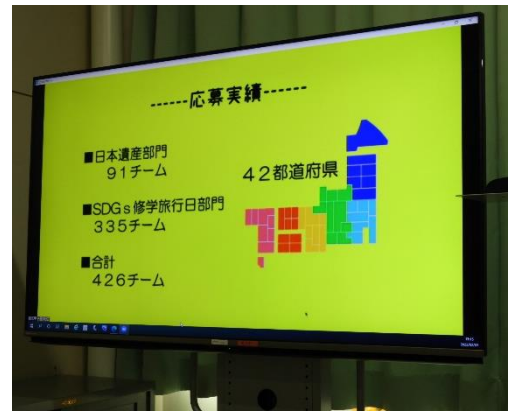


高知県立梶原高等学校 YELL PR 班の取組

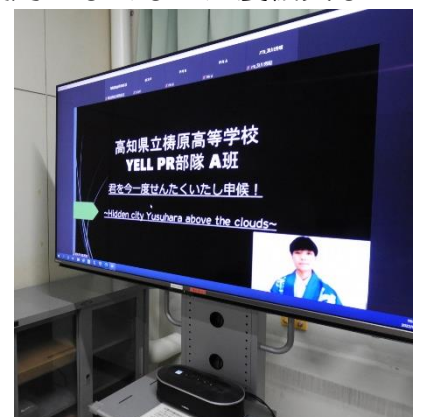
梶原高校では総合的な探究の時間を週2時間設定し、隔週で学年別と学年を取り払って地域を学習の場とするプロジェクト学習（YELL：Yusuhabara's Education of Life and Living）を2時間続きで交互に実施しています。学年別では1年生で「地域理解」、2年生で「自己理解」、3年生で「グローバル人材を目指す」をテーマとして学び、学年を取り払っての学習では、「産業」「環境・観光」「文化」「PR」の4分野に分かれ、地域の自然や伝統文化の保護、商品開発、情報発信などを通して課題発見と課題解決の力を身に付けるよう取り組んでいます。



この度、PR 班の一つのグループが高校生の「観光甲子園」の「SDGs 修学旅行部門」でグランプリをいただきました。観光甲子園は国土交通省の観光庁が後援する全国大会で、全国の高等学校が観光課題の解決策を考える探究型学習を行い、その成果として創作する観光動画のコンテストです。毎年テーマが示され、そのテーマに沿って作品づくりをします。観光甲子園2021では「日本遺産」と「SDGs 修学旅行」の2つの部門が設けられました。本校はタイトルを「君を今一度せんたくいたし申候!」とし、梶原町内をとおる龍馬

脱藩の道を中心とした旅行プランを作成しました。1日目に町内で使用しなくなった農機具などの鉄資源を利用し、ナイフや農具を再生させる取組をされている鍛冶屋さんでの体験、2日目に体験で製作した農具を使っの棚田での稲刈り・収穫体験をおこなう。3日目には梶原の木材をふんだんに使った隈研吾さん設計等で縁のある建築物をめぐり、宿泊はその一つのホテルとするなど2泊3日のSGDsを考える修学旅行の提案をしました。

コロナウィルス感染症防止の観点から決勝大会はオンラインで開





催され、決勝進出5校の中には本大会で2連覇中の強豪校も残っており、その他の学校のプレゼンも素晴らしく決勝に進めたことで、新しい視点や価値観などを知ることができ、それだけでも十分という雰囲気でしたが、幸運にもグランプリをいただくことができました。今回の受賞は、地域の方が大切に、また当たり前として守り、受け継いでこられたものを総合的な探究の時間の中で他の班や学年がフォーカスし学んだ

ものの集約に対していただけたものと思っています。これからも地域の自然や伝統文化、大切に継承されてきたものから沢山学ばせていただきたいと思います。

